

堀金中学校の業務改善計画

本年度 堀金中学校の具体的な取組

1 勤務時間を意識した働き方

- 管理職が年間を通してすべての教職員の勤務時間を把握し、一人一人に応じて面談を行う等、勤務時間への意識を高めていく。

2 教職員の意識改革

- できるだけ年次休暇を取るよう学校長が職員会議等で促す。
- 毎週水曜日の定時退勤日は、職員数について「6時8割退勤」を実現するよう促す。

3 業務の削減や分業化、協業化

- 朝の活動見守りボランティア、教育課程内での学習ボランティア等を活用する。
- 悉皆会議（職員会・教務会・職員朝会）を精選し、自発的な研修を活性化。水曜日に職員会及び教科等研修を入れ、それ以外の曜日の会議を減らす。
- 職員同士が気軽にわからないことを聞き合い、お願いし合える、同僚性を育む。

4 業務の効率化、情報化

- 職員会議の資料や学校運営計画を印刷せず、パソコン使用して会議を行う。
- 学校日誌、新聞記事や校長の指示伝達等、データ化をはかる。
- アンケート調査とその集計にはフォームを使う。

5 業務環境の改善

- 水曜日の日課で清掃をなくし、生み出した30分間を職員研修や学年会、支援会議など使える時間を確保した。

6 教育内容の見直し及び定数改善の視点から国や県への要望

- 教員配当基準の見直しや学校を支援するための人材の確保について、関係機関へ機会をとらえて提言や要望をしている。